

会 議 録

会 議 名	令和5年度 第2回三郷市かわまちづくり協議会	
開 催 日 時	令和5年10月30日（月）15時00分～17時00分	
開 催 場 所	三郷市役所 本庁舎 7階 大会議室	
出 席 者	委 員	坪原（会長）、豊田（副会長）、赤坂、神谷、大久保、竹本、竹内、堀之内、日出間、斉藤、松島、石原
	関係機関	
	関係課 （三郷市）	商工観光課 吉田課長補佐、坂本係長（商工労政観光係） スポーツ振興課 佐々木課長、元井係長（管理係）
	事務局 （三郷市）	企画政策課 狩集課長、斉藤補佐（司会）、和知主査
次 第	1 事務連絡 2 報告事項 事業検討部会の進捗について [資料1] 3 協議事項 実証実験の実施について [資料2] [参考資料] 4 その他	
資 料	・資料1 これまでの進捗について ・資料2-1 三郷市かわまちづくり協議会による事業実証実験について【全体概要】 ・資料2-2 「ドローンフィールド」実証実験コンテンツ概要 ・資料2-3 「三郷リバーサイドアウトドア場」実証実験コンテンツ概要 ・（参考）三郷駅周辺江戸川河川敷の活性化方針	

(議事要旨)

1. 事務連絡

2. 報告事項

キャンプ、ドローン、キッチンカーの出店について実証実験を実施する。

3. 協議事項

- ▶ 実証実験のゾーニングは、昨年度の計画のゾーニングと異なっている。
- ▶ 期間は11月中旬から3か月を予定するが、若干遅れ気味である。期間は3か月を単位として6か月までを考えている。
- ▶ 占用は三郷市長、実施主体は協議会、実際の運営は観光協会、ドローンスクール、iLBfとする。
- ▶ 目的は、来客数の確認、維持管理コストを確認しながら運営の可能性を検証すること。
- ▶ 車両の出入り口は、流山橋の北側は入り口占用、出口は橋の下流側としてスムーズな出入りができるようにする。
※ 下流側は現状と同様に出入りの両方ができるほうがよい。(堀之内、協議会後に意見)
- ▶ ドローンは2面を用意し川の上も飛行区域とする予定。これは実験期間中に実施しながら利用するエリアを検討する。実証実験中はフィールドの草刈を行いロープなどで目印を設置する。
- ▶ キャンプの企画では、宿泊、日帰り利用とし、事前予約制とする。実験期間中には集客のイベントとして気球や飲食のイベントを開催したいと考えている。たき火の利用は、利用時間を管理していく。

以上説明

○実証実験の時期について

- ▶ 実証実験の開始は11月中旬から遅れるというが、いつになるか。(松島)
⇒ 本日の協議会で同意いただければ、手続きの準備に2週間、その後に国へ申請を提出して1か月かかるため、12月中旬と考えている。(事務局)
- ▶ 許可申請の日付が10月1日になっているが、実際は使用許可を取っているのか?(松島)
⇒ 予定で記載したものであり占用許可申請は今後提出する。申請日は未定である。(事務局)
- ▶ キャンプ、ドローンの準備は間に合うのか?(松島)
⇒ キャンプ、ドローンともに1か月程度準備に必要。(堀之内、石原)
国土交通省の国家試験が可能な場所にするには1か月程度はかかる。(石原)
- ▶ 話を伺っていると、年内に実施するのは難しいと思うがどうか。(松島)
⇒ 秋にアウトドアのお客さまを呼べるようにしたいと思い、議論をしてきた。議論を十分に
行い準備することで時間がかかるのはやむを得ないと思う。(事務局)
- ▶ 今回提示された企画はおおざっぱであり詰め切れていないところがあると感じる。これで大丈夫なのかと心配だ。また、冬季の集客は難しいのではないか。事業者の持ち出しの資金で行うこともあり、きちんと計画、準備を行ってから実証実験を行ったほうが良いと思う。(松島)

○広報について

▶ 実証実験の広報はどのように行うのか。(松島)

- ⇒ 告知は2種類あると考えている。地元の方に開催を事前に知らせること、もう一つは集客アップのための広報と考える。一つ目は、チラシにて説明を行うこと、立て看板の設置などを予定する。二つ目は市のHP、広報紙での告知を予定するほか、委員のネットワークにて広報を展開したい。(事務局)

○実証実験の内容について

▶ サンケイスポーツのグラウンドに利用案内の注意事項を示した紙があり、それには火気厳禁と記載している。今回たき火を行えることになると、河川敷全体で火気の使用が可能になったと勘違いされる可能性がある。誤解が生じないように利用者に情報を伝えて欲しい。(日出間)

- ⇒ 利用者に誤解が生じないように説明していく。(事務局)

▶ バーベキューは市内、市外のどちらをターゲットにしているか。自分の家の近くの見沼公園は市内利用者が4000円、市外が6000円の設定である。今回の設定は安いのではないか。また、たき火は22時までだが真冬に行くと寒さでそれ以前に帰ってしまうのではないか。(日出間)

- ⇒ 吉川美南で実験をした際に、同様の金額設定で実施して問題がなかった。

たき火の利用は、宿泊者は8時~9時が盛り上がる時間であるため22時までの利用でちょうど良いと考えている。夜は寒いのでたき火をする。(堀之内)

▶ キッチンカーの説明をしてほしい。(竹本)

- ⇒ キッチンカーがあったほうがよいというこれまでの意見を踏まえて実施する。デイキャンプも飲食を伴う利用であり、そこでキッチンカーを出して需要があるのか、この場所で店を出して採算が合うのかなどを確認することを目的に、実証実験を行いキッチンカーの方からも意見をもらうことにしている。(大久保)

▶ 台数は何台を予定するのか？(竹本)

- ⇒ 訪れる人数を想定して、台数も設定していく。(大久保)

- ⇒ 置けるスペースとしては4箇所に計5台ほどのスペースはあると考えている。(事務局)

▶ キャンプの利用料金は宿泊、日帰りで金額はかわるのか？(豊田)

- ⇒ 今回は煩雑にならないように、同じ料金設定とする。(堀之内)

▶ キャンプ道具など、何か用意されるのか？

- ⇒ 基本は場所の提供と考えている。簡単なたき火道具、テントなど準備したいとは思っているが、基本はお客さんに準備してもらおう。炊事場は提供しない。これも予約時などに利用者に説明を行う。

▶ キャンプ利用者数、車の台数の上限は？(大久保)

- ⇒ 25台で考えている。歩きの利用者は少ないと予想している。(堀之内)

▶ キャンプは水場が大切だと思う。オートキャンプ1台1000円というのはなにか？(斎藤)

- ⇒ テントサイトに車を横付けで止めてキャンプする際の利用料金を1000円に設定している。

車1台を止めて2人利用の場合には計5000円の料金となる。(堀之内)

- ▶ トイレは風の広場を利用するとのことだが、遠くて高低差もあるため夜は特に行き来が難しいのではないか。(松島)
 - ⇒ これは懸念しているところだが、実証実験で課題を把握していきたい。また、水場の必要性もアンケートをとることで上がってくると想定している。これを拾って必要な整備を挙げていきたい。トイレは、ないわけではないので、想定する利用人数の場合は問題ないと考えている。(堀之内)
 - ⇒ 風の広場はキャンプサイトからも遠く、夜はお子さんがトイレに行く度に付き添いも必要になると思う。また、横には江戸川も流れていて危険もあるため注意が必要と思う。(松島)
 - ⇒ 事前の予約の際には夜の注意事項を伝えて、実証実験を行うようにしたらよい。夜間使えるトイレなのかは確認しておく必要はあると思う。(神谷)
 - ⇒ 簡易トイレを市で設置することをしてもらったほうが良いと思う。(豊田)
 - ⇒ 市の内部調整をすることは可能だが、時間を要してしまう。(事務局)

○ドローンについて

- ▶ サンケイのグラウンドでもドローンの利用要望があり使ってもらったことがある。しかし、その後の利用がなくなった。現状の需要はあるのか。(日出間)
 - ⇒ 利用の要望はある。昨年12月から資格制になったため、事前の練習や、資格取得後の練習をする人達からの需要がある。三郷市よりも都心から遠い荒川の河川敷で有料のドローンフィールドを運営しているが、利用者が増えている。三郷の好立地でできると、ドローン関係者の話題になるのではないかと考えている。利用箇所については、常時線をひいておくことができれば使いやすい。広さは50m×50mあれば国家資格がとれる場所として使える。(石原)
 - ⇒ 川の上に飛ばせるということだが、戻ってこなくなることはないのか。(日出間)
 - ⇒ その可能性はある。実験しつつ利用ルールを検討したい。(石原)
- ▶ 線路から30m離して飛行区域を設定しているが、この安全管理は要検討と思う。(豊田)
 - ⇒ 飛行区域は線路まで広く設定した図になっているが、実際には50m幅から川側にのみ飛行可能な範囲を設定して運用する。高さの上限も土手の高さ程度に設定しようと考えている。線路側にはドローンが行かないようにする。(石原)
- ▶ 営業日はいつになるのか。(豊田)
 - ⇒ ドローンは、水曜以外の平日と土日で営業する。(石原)
 - ⇒ キャンプは木曜日休みとして、それ以外の曜日で行う。(堀之内)
 - ⇒ キッチンカーは、自由な日程の利用として国に申請を行う。(大久保)
- ▶ それだけの人を配置して実施できるのか、確認が必要と思う。(松島)
 - ⇒ キャンプは平日6時~7時の時間でお客さんが増える。たき火ができる場所を求めている人がいる。今回、ここに人が来るのかを実験で確かめたい。(堀之内)
 - ⇒ 自前で実施されるということだが、市からの補助金はないのか？(松島)

⇒ 具体の補助金はない。(事務局)

○車止めの施錠・鍵の管理について

▶ 現状で車止めを施錠する管理をしているが、イベント期間中はどのようにするのか。常時鍵を管理する人が必要になると思う。常に車止めを外しておく、車を廃棄する人も出てくると思うので、それは気を付けてもらいたい。(神谷)

⇒ 車が入れる時間を決めて、鍵を借りて運用する予定でいる。(堀之内)

▶ 風の広場のトイレの鍵も管理するのか？

⇒ 開けっ放しでどのような問題が生じるかを実験で確認したい。(堀之内)

▶ 今回の利用範囲とサンケイスポーツのグランドエリアの間には、車止めがある。ここから下流側には車は入って来ることはないと思うので安心している。また、グランドの駐車場利用者にも声かけをすることでマナーを守って利用いただいている。利用者への声掛けが重要と思う。(日出間)

○実施主体について

▶ 今回の実施が協議会になっているが、二子玉川の場合はエリマネが主体となっている。実施主体が協議会でよいのか疑問だ。イベントの主体に協議会になることは可能なのか。また、今回のイベント実施者とは契約などは行うのか。(坪原)

⇒ 契約は行わない。利用については市が管理する公園でイベント使用をするのと同じと考えている。このためイベント実施者が主体となると考えている。(事務局)

⇒ 他河川で、協議会の下部にある部会と市の連名で主催としてイベントを実施している事例がある。今回も同様にできるのではないか。(事務局)

⇒ 三郷市では事業検討部会と三郷市の主催ということであれば問題ないと思う。(坪原)

⇒ 事業検討部会と三郷市の主催として進める。市の内部でも調整する。(事務局)

▶ 実施主体を変更することでスケジュールに影響はあるか。(堀之内)

⇒ スケジュールには大きく影響はない。市の内部で調整を図るが、主催変更によりスケジュールが後ろにずれることがないように進める。(事務局)

以上